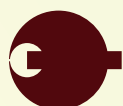


財政指標にみる  
あなたのまちの  
財政状況

令和5(2023)年度 奈良県内市町村決算



奈良県広報担当VTuber「奈々鹿」



奈良県総務部知事公室市町村振興課

令和7年3月



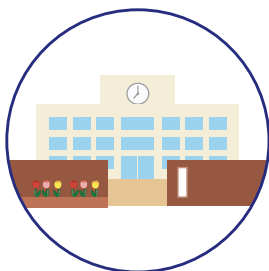
# 目 次

はじめに – 「財政」という言葉をご存じですか？	1
1. 市町村財政のしくみは？	2
2. 収支(資金繰り)の健全度を測るポイントは？	5
2-1. 夫婦の給与で生活費がまかなえているか(経常収支比率)	6
2-2. 家計が赤字になっていないか(実質赤字比率・連結実質赤字比率)	17
3. 借入れや保証の健全度を測るポイントは？	20
3-1. 毎年のローン返済が重すぎないか(実質公債費比率)	21
3-2. ローン残高や保証額は大きすぎないか(将来負担比率)	28
4. 貯金(基金)はどれくらいあるのか？	35
5. 市町村税収の状況は？	38
6. 財政状況が悪い市町村はどうなるの？	43

## はじめに — 「財政」という言葉をご存じですか？

市町村では、税金や借入金(地方債)等で資金を調達(歳入)し、その資金を住民の福祉や教育などのサービス、道路などの整備や地元産業の振興のために活用(歳出)しています。この一連の活動を広く「財政」と呼んでいます。

お住まいの市町村で公表されている「財政状況」をみれば、どのように資金を集めて、どのように使ったか、また借入金の残高はどれくらいあるかなど、その年の「経営成績」を知ることができます。



小・中学校の管理



道路の建設・  
維持管理



保育サービス



福祉サービス



家庭ゴミの収集

### 財政状況を読みとくポイントは？

#### ①身近な視点で考える・・・「家計」との比較

市町村の「財政」を、皆さんにとってもっと身近な視点で考え、理解していただくために、ここでは「財政」を「家計」にたとえていますので、家計の視点でやりくりがうまいかどうかをみてください。

#### ②「成績表」を比較する・・・過去の成績や他の市町村との比較

お住まいの市町村の「財政状況」は、その年のいわば「成績表」ですから、過去の財政状況や他の市町村の財政状況と比べることが肝心です。ここでは、県内市町村の財政状況を比較しやすいように、重要なポイントを比率で表した「財政指標」を中心に説明していきます。

# 1. 市町村財政のしくみは？

## 市町村財政における会計区分について

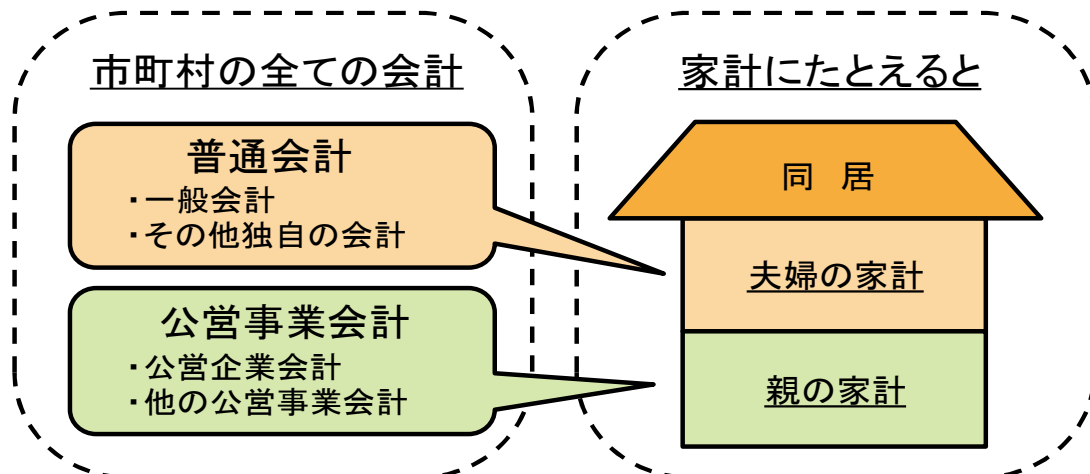
市町村では、福祉、教育、土木、上下水道、病院、国民健康保険、介護保険など様々な行政サービスを行うための経費を大きく2つの会計に分けて管理しています。

3ページのグラフは「普通会計」と呼ばれる会計の決算で、福祉、教育、土木、衛生など、市町村の基本的な施策を行う会計である「一般会計」と、特定の事業を行う場合に、条例により一般会計と区分して経理する「特別会計」からなります。

また、上下水道、病院のように採算性のある事業や、国民健康保険事業などに適用される「公営事業会計」と呼ばれる会計があります。

市町村の会計を家計にたとえると、次のように考えることができます。

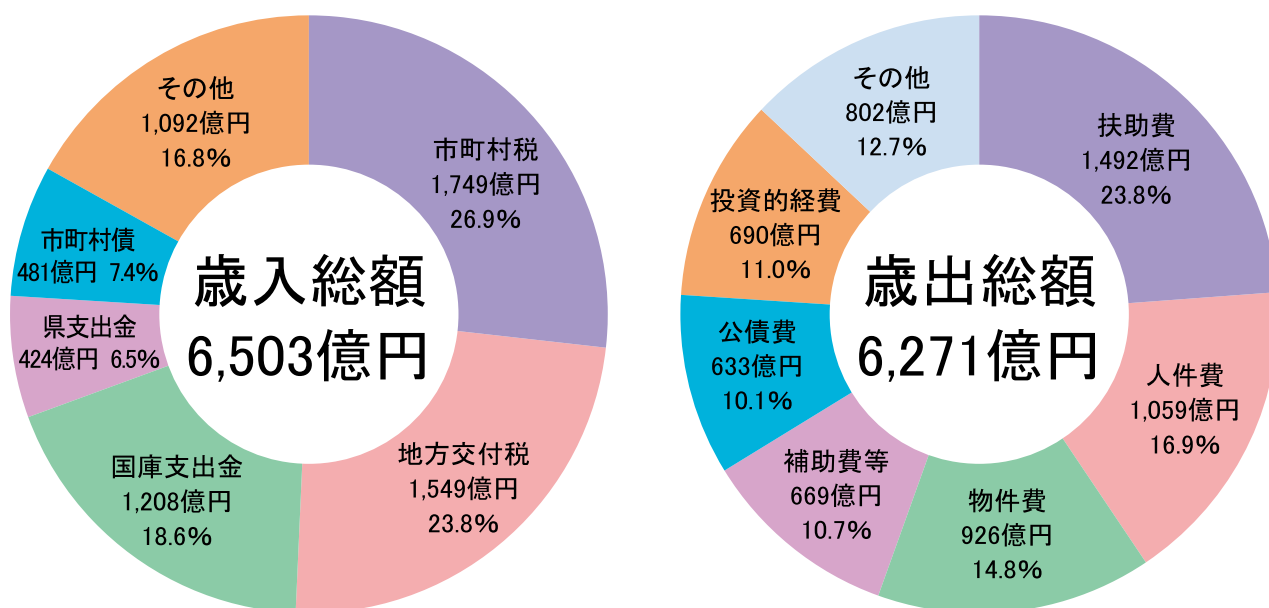
地方財政		家計にたとえると	
普通会計	一般会計 特別会計(普通会計に属するもの) 例:〇〇貸付金特別会計 用地先行取得特別会計	夫婦の家計	同居
公営事業会計	公営企業会計 (水道、下水道、交通、病院など) 収益事業会計 (競馬、競輪など) 国民健康保険事業会計 介護保険事業会計 後期高齢者医療事業会計 その他	親の家計	



## 市町村財政(普通会計)における1年間の収入・支出(歳入・歳出)について

下のグラフは、令和5年度の県内39市町村の普通会計決算を合計したものです。

皆さんに納めていただく市町村税は、歳入のおよそ1/4を占めており、貴重な財源となっています。歳出は、割合の大きい順に扶助費、人件費、物件費となっています。扶助費は、生活保護や子ども、高齢者、障害者等を援助する経費をいい、近年増加傾向にあります。物件費は、新型コロナウイルスワクチン接種に係る事業費が減少したことに伴い、減少しました。



市町村財政(歳入・歳出)を家計(収入・支出)にたとえると次のように考えることができます。

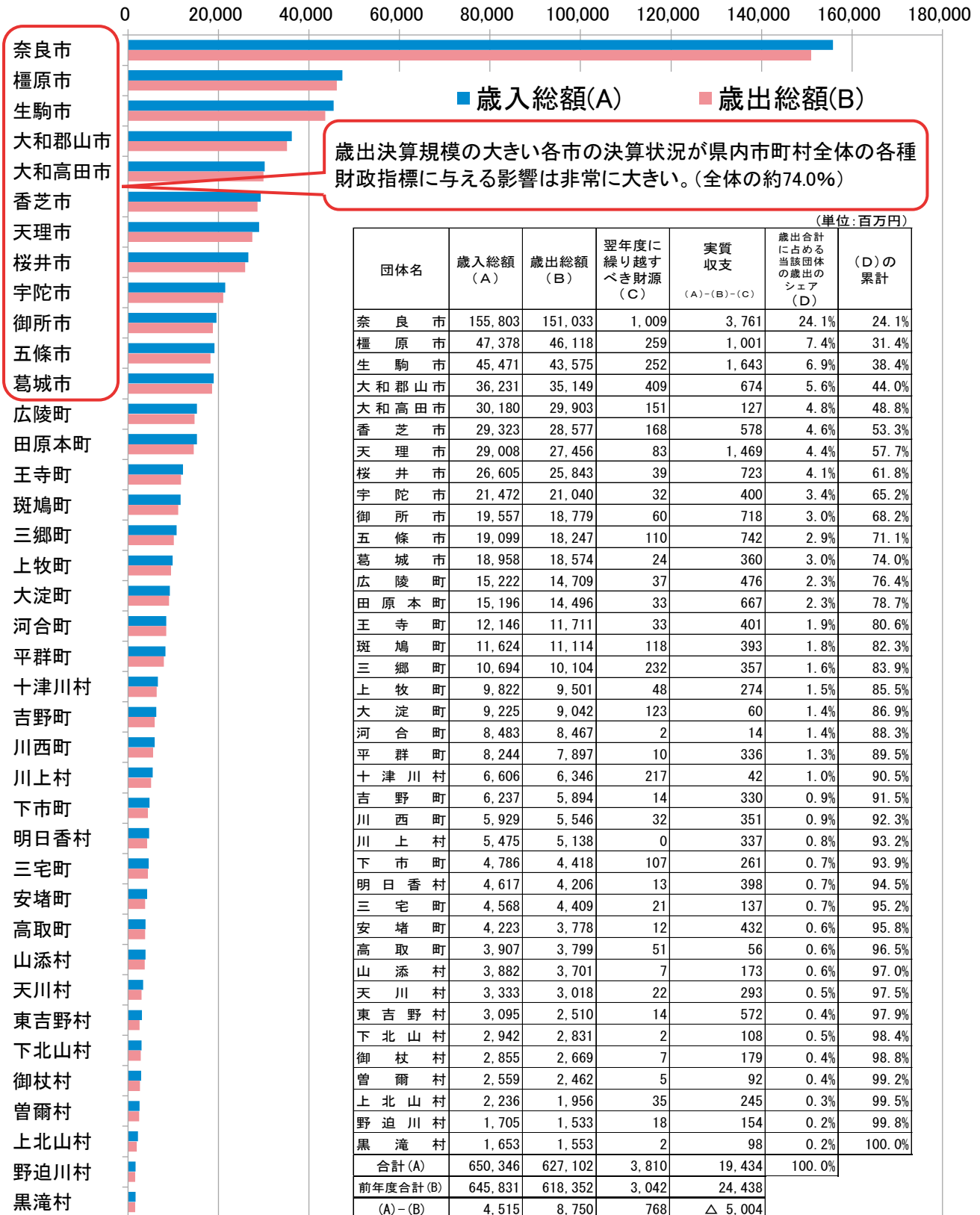
市町村財政(普通会計)		家計にたとえると		
歳入	市町村税	収入	給与	
	地方譲与税、各種交付金		給料	
	地方交付税		普通交付税	ボーナス
			特別交付税	手当(扶養・住宅)
	基金繰入金		災害見舞金(支援金)	
	国・県支出金、使用料、手数料、諸収入等		貯蓄の取り崩し	
市町村債	その他臨時収入			
歳出	人件費	支出	新たな借金	
	扶助費、物件費、維持補修費		食費	
	補助費等、繰出金		日々の生活費	
	公債費		医療費、光熱水費、修繕費等	
	投資的経費		普通建設事業費	親や子どもへの生活費の仕送り等
			災害復旧事業費	ローンの返済
	積立金		家の購入、車の購入	
	投資・出資金、貸付金		災害による家屋の修繕等	
				貯蓄の積み立て
	株式投資等			

## 県内各市町村の決算規模(普通会計)

県内各市町村の令和5年度普通会計決算額を歳入規模の大きい順番に並べ、グラフで表すと以下のようになります。

歳出決算額が県内市町村歳出決算額合計のおよそ1/4を占める奈良市をはじめ、歳出決算規模の大きい各市の決算状況が県内市町村全体の各種財政指標に与える影響は大きくなります。

(単位：百万円)



## 2. 収支(資金繰り)の健全度を測るポイントは？

家計と同じく、市町村財政でも健全度を測るためには、収支(資金繰り)と借入れに注目することが重要です。まず、収支(資金繰り)では、①給与(経常的収入)で生活費(経常的支出)がまかなえているか、②会計が赤字になっていないかが重要です。

そこで、財政規模や会計制度が市町村ごとに異なりますので、基本的収入である夫婦の給与(経常的収入)を基準にした「財政指標」で表すことで、比較がしやすくなります。

### 収支の健全度を測るポイント！

市町村の各会計の決算額をみてもわかりづらい要因は…

- ・財政規模の大小(例:奈良市と黒滝村)
- ・会計区分のバラツキ(例:市町村独自の特別会計)
- ・地域のニーズに応じた支出の重点化(例:福祉・道路・教育等)

そこで

財政指標①(経常収支比率)、②(実質赤字比率・連結実質赤字比率)を活用

- ・財政規模や支出のバラツキがなくなる
- ・全市町村の会計区分が統一される

①給与で生活費が  
まかなえているか

経常収支比率(夫婦)

②赤字になっていないか

実質赤字比率  
(夫婦)

連結実質赤字比率  
(夫婦と親)

P6~P16へ

P17~P19へ

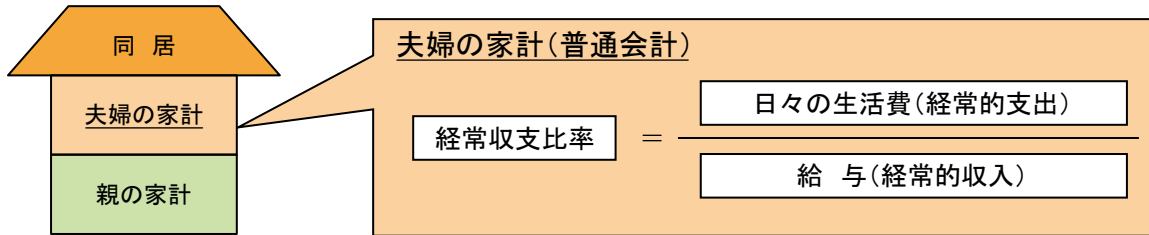
### 各財政指標の健全度を健康状態であらわすと

財政指標	健康状態			
	健全 自己管理	要治療	重症 入院治療	重篤 緊急集中治療
経常収支比率	93.1%	100.0%		
実質赤字比率	0.0%	11.25%~15.00%	20.00%	
連結実質赤字比率	0.0%	16.25%~20.00%	30.00%	



## 2-1. 夫婦の給与で生活費がまかなえているか(経常収支比率)

夫婦の家計(普通会計)が給与(経常的収入)で日々の生活費(経常的支出)をまかなえているかをみるための財政指標が「経常収支比率」です。この比率が高くなると臨時収入や貯蓄の取り崩しが必要な状況であることがわかります。



市町村財政(普通会計)		家計にたとえると	
歳入	市町村税	収入	給与
	地方譲与税、各種交付金		給料
	地方交付税		ボーナス
	普通交付税		手当(扶養・住宅)
	特別交付税		災害見舞金(支援金)
基金繰入金	貯蓄の取り崩し	その他臨時収入	
国・県支出金、使用料、手数料、諸収入等	新たな借金		
市町村債			
歳出	人件費	支出	日々の生活費
	扶助費、物件費、維持補修費		食費
	補助費等、繰出金		医療費、光熱水費、修繕費等
	公債費		親や子どもへの生活費の送り等
	投資的経費		ローンの返済
	普通建設事業費		家の購入、車の購入
	災害復旧事業費		災害による家屋の修繕等
積立金	貯蓄の積み立て		
投資・出資金、貸付金	株式投資等		

良好 ←	→ 要改善
指標が低くなるほど	指標が高くなるほど
生活にゆとりがある (行政サービスの充実)	生活を切りつめる (行政サービスの縮小)
車等の購入がしやすい (普通建設事業の拡充)	車等の購入を見送る (普通建設事業の縮小)
貯蓄がしやすい 無理な借入れをしなくてもよい (基金残高の増、地方債借入残高の減)	貯蓄を取り崩す 借入れをする必要が生じる (基金残高の減、地方債借入残高の増)

## 県内市町村の経常収支比率の状況

令和5年度県内市町村平均 93.9% (全国平均 93.1%)

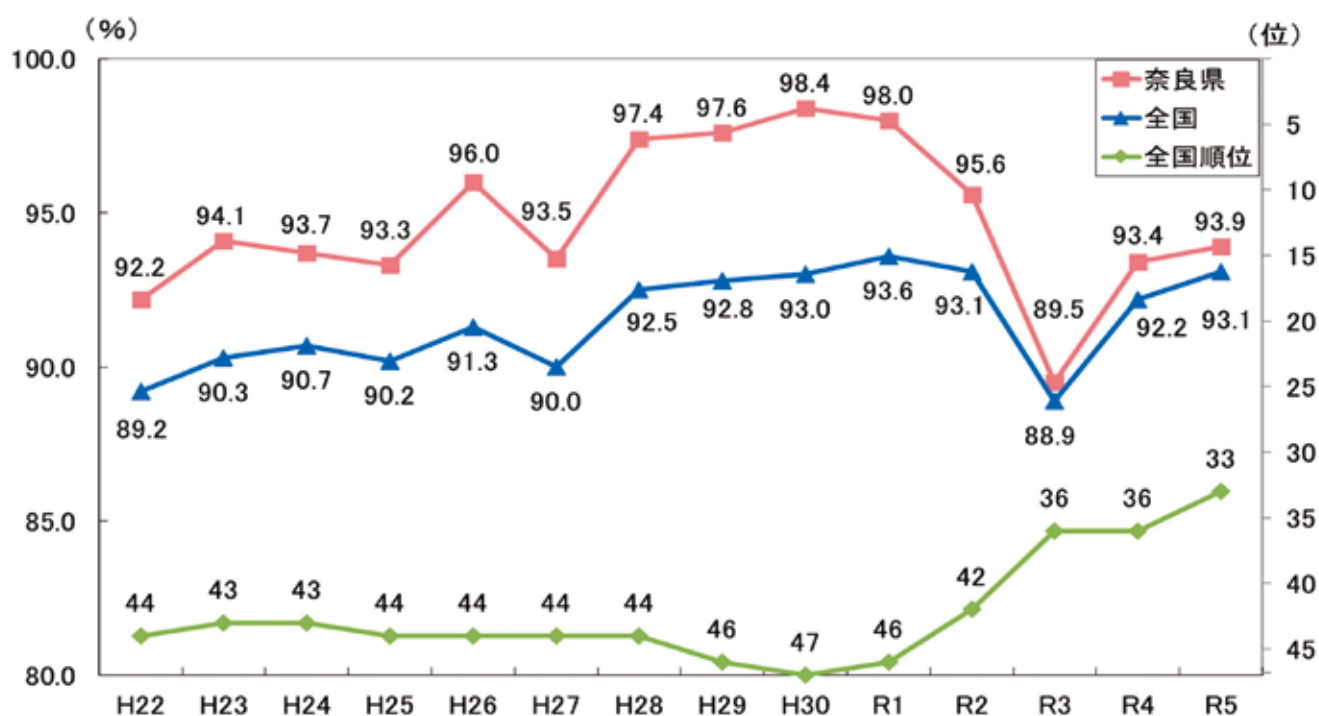
・全国33位(前年度は36位)

・対前年度比 0.5ポイント悪化(全国平均は0.9ポイント悪化)

経常収支比率の県内市町村平均(加重平均)は、平成18年度から平成20年度決算まで3年連続で全国47位でした。平成21年度決算では4年ぶりに全国最下位から脱却し、平成23年度決算では全国43位まで改善しましたが、平成30年度決算では再び全国最下位となりました。令和元年度決算の全国順位は46位となり最下位を脱却、令和2年度では対前年度比で2.4ポイント改善し、全国42位となり、令和3年度決算では対前年度比で6.1ポイント改善し、全国36位となりました。令和4年度決算では対前年度比3.9ポイント悪化しましたが、全国順位は令和3年度決算同様36位となりました。

令和5年度決算では対前年度比0.5ポイント悪化しましたが、全国順位は33位となりました。

全国平均は0.9ポイント悪化し、全国平均との差は縮小したものの、県内市町村では、より一層の行財政改革に取り組む必要があります。



# 各都道府県の経常収支比率(市町村平均)の推移

令和5年度県内市町村平均は93.9%となり、前年度より0.5ポイント悪化しました。  
 全国順位は、33位でした。

(単位：%、位)

令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			
順位	都道府県名	経常収支比率	順位	都道府県名	経常収支比率	順位	都道府県名	経常収支比率	順位	都道府県名	経常収支比率	順位	都道府県名	経常収支比率	対前年度比率の増減
47	神奈川県	99.4	47	神奈川県	98.3	47	神奈川県	94.3	47	神奈川県	96.7	46	宮城県	96.9	0.4
46	奈良県	98.0	46	京都府	97.5	46	宮城県	93.9	45	宮城県	96.5	46	神奈川県	96.9	0.2
45	京都府	97.4	45	宮城県	96.6	45	京都府	92.6	45	京都府	96.5	45	京都府	96.6	0.1
44	宮城県	97.0	43	大阪府	95.7	44	兵庫県	91.1	44	和歌山県	94.5	44	大分県	95.3	1.1
43	和歌山県	96.6	43	和歌山県	95.7	43	広島県	90.8	43	大阪府	94.4	43	和歌山県	95.1	0.6
42	大分県	96.4	42	奈良県	95.6	40	岩手県	90.5	42	広島県	94.3	42	兵庫県	94.8	0.6
41	山口県	95.9	41	山口県	95.5	40	和歌山県	90.5	40	兵庫県	94.2	39	群馬県	94.7	1.1
40	大阪府	95.7	40	大分県	95.1	40	福岡県	90.5	40	大分県	94.2	39	大阪府	94.7	0.3
39	群馬県	95.6	38	兵庫県	94.8	39	大分県	89.9	39	岩手県	93.8	39	広島県	94.7	0.4
37	兵庫県	95.2	38	福岡県	94.8	38	山口県	89.7	37	群馬県	93.6	38	山口県	94.6	1.5
37	広島県	95.2	36	群馬県	94.5	37	千葉県	89.6	37	福岡県	93.6	37	埼玉県	94.4	1.4
36	福岡県	95.0	36	広島県	94.5	36	奈良県	89.5	36	奈良県	93.4	36	福岡県	94.1	0.5
35	埼玉県	94.5	35	埼玉県	93.7	35	新潟県	89.4	35	山口県	93.1	34	徳島県	94.0	1.4
34	高知県	94.4	34	徳島県	93.4	33	愛知県	89.3	34	埼玉県	93.0	34	長崎県	94.0	1.3
33	岩手県	94.2	33	千葉県	93.3	33	大阪府	89.3	32	新潟県	92.9	33	奈良県	93.9	0.5
31	千葉県	93.9	32	岩手県	92.9	32	熊本県	89.1	32	香川県	92.9	31	岩手県	93.5	△0.3
31	宮崎県	93.9	31	香川県	92.8	31	埼玉県	88.9	30	千葉県	92.7	31	千葉県	93.5	0.8
30	佐賀県	93.8	26	北海道	92.4	30	秋田県	88.8	30	長崎県	92.7	30	茨城県	93.4	1.8
29	熊本県	93.4	26	青森県	92.4	29	群馬県	88.6	29	徳島県	92.6	29	秋田県	93.3	1.3
28	徳島県	93.2	26	福井県	92.4	26	北海道	88.4	28	秋田県	92.0	28	宮崎県	93.1	2.4
27	長崎県	93.0	26	高知県	92.4	26	香川県	88.4	27	山形県	91.8	25	栃木県	92.8	2.1
24	秋田県	92.9	26	熊本県	92.4	26	長崎県	88.4	26	茨城県	91.6	25	香川県	92.8	△0.1
24	福井県	92.9	24	新潟県	92.3	25	徳島県	88.1	24	高知県	91.3	25	高知県	92.8	1.5
24	鹿児島県	92.9	24	滋賀県	92.3	24	福井県	88.0	24	熊本県	91.3	24	新潟県	92.7	△0.2
23	香川県	92.8	22	佐賀県	92.2	22	青森県	87.8	23	福井県	91.1	23	愛知県	92.6	2.4
20	青森県	92.7	22	宮崎県	92.2	22	島根県	87.8	21	北海道	91.0	22	熊本県	92.3	1.0
20	栃木県	92.7	20	秋田県	92.1	21	東京都	87.6	21	青森県	91.0	20	山形県	91.9	0.1
20	新潟県	92.7	20	長崎県	92.1	20	滋賀県	87.3	18	栃木県	90.7	20	石川県	91.9	1.2
18	茨城県	92.6	19	石川県	92.0	19	石川県	87.2	18	石川県	90.7	18	滋賀県	91.8	1.5
18	石川県	92.6	17	島根県	91.9	18	茨城県	86.9	18	宮崎県	90.7	18	佐賀県	91.8	1.3
17	北海道	92.5	17	鹿児島県	91.9	14	栃木県	86.5	16	佐賀県	90.5	17	北海道	91.6	0.6
16	山形県	92.4	16	茨城県	91.7	14	高知県	86.5	16	鹿児島県	90.5	16	青森県	91.5	0.5
15	東京都	92.0	15	愛知県	91.6	14	佐賀県	86.5	15	島根県	90.4	15	福井県	91.3	0.2
13	滋賀県	91.3	14	山形県	91.2	14	宮崎県	86.5	14	滋賀県	90.3	14	島根県	91.1	0.7
13	島根県	91.3	13	栃木県	91.1	12	静岡県	86.4	13	愛知県	90.2	13	三重県	90.8	1.0
12	岡山県	90.8	12	静岡県	91.0	12	三重県	86.4	12	三重県	89.8	12	鹿児島県	90.7	0.2
11	愛知県	90.6	11	東京都	90.5	10	山形県	86.3	11	愛媛県	89.6	10	静岡県	90.6	1.1
10	鳥取県	90.5	9	岡山県	90.0	10	鹿児島県	86.3	10	静岡県	89.5	10	岡山県	90.6	1.8
9	静岡県	90.3	9	愛媛県	90.0	9	愛媛県	86.2	9	福島県	89.4	8	福島県	90.4	1.0
8	福島県	90.0	8	鳥取県	89.8	8	鳥取県	85.7	7	東京都	89.1	8	愛媛県	90.4	0.8
7	岐阜県	89.7	7	岐阜県	89.6	7	岡山県	85.5	7	鳥取県	89.1	6	東京都	90.2	1.1
6	沖縄県	89.6	6	山梨県	89.4	6	福島県	85.3	6	岡山県	88.8	6	沖縄県	90.2	1.9
5	愛媛県	89.5	5	三重県	89.2	5	富山県	85.2	5	富山県	88.7	4	富山県	90.0	1.3
4	三重県	89.3	4	福島県	88.9	4	山梨県	85.0	4	岐阜県	88.5	4	鳥取県	90.0	0.9
3	山梨県	89.2	3	沖縄県	88.4	3	沖縄県	84.5	3	沖縄県	88.3	3	岐阜県	89.4	0.9
2	富山県	89.0	2	富山県	87.8	2	岐阜県	84.2	2	山梨県	87.4	2	山梨県	89.2	1.8
1	長野県	87.0	1	長野県	87.4	1	長野県	82.9	1	長野県	86.5	1	長野県	87.7	1.2
全国平均	93.6	全国平均	93.1	全国平均	88.9	全国平均	92.2	全国平均	93.1	0.9					

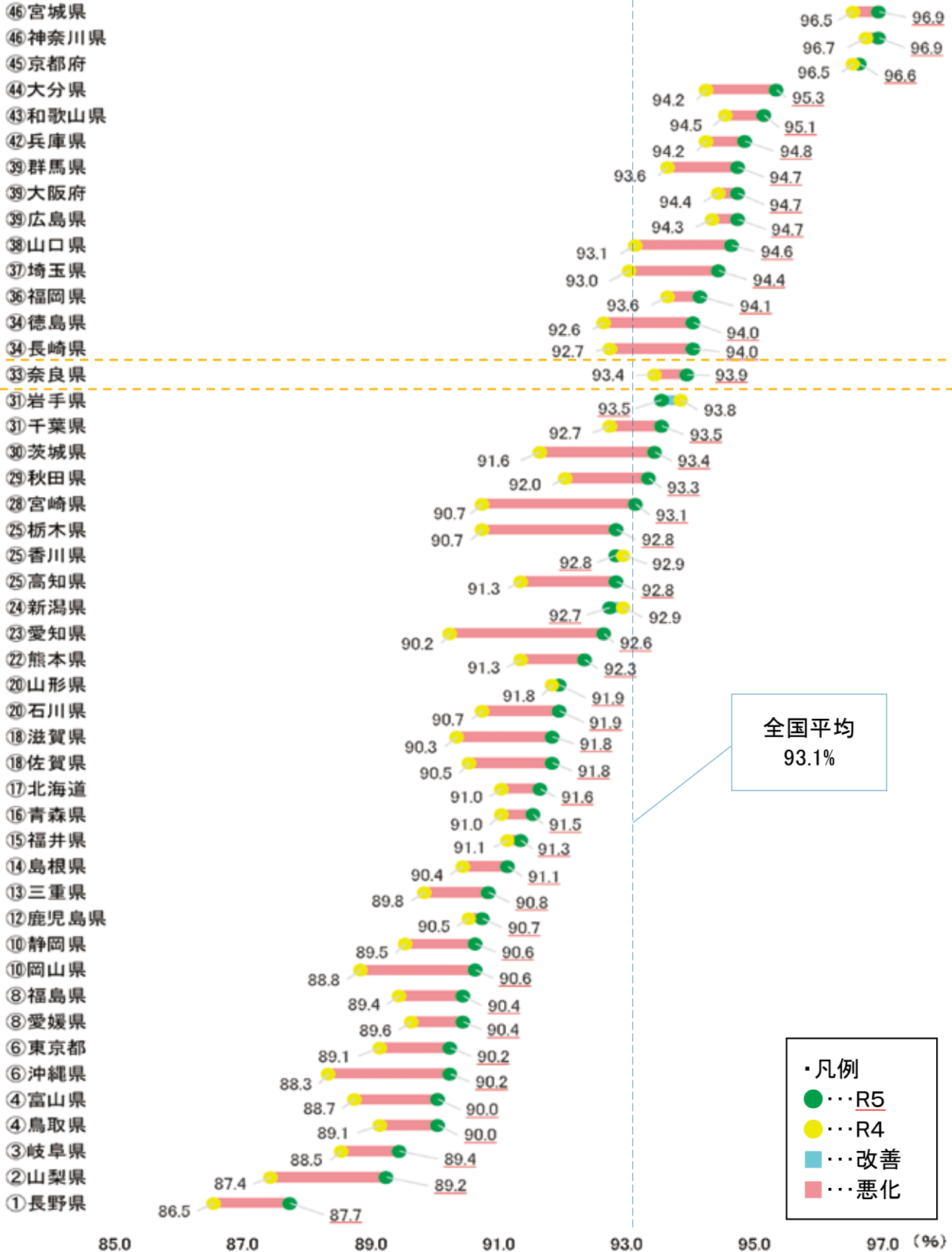
令和5年度各都道府県の経常収支比率(市町村平均)を前年度と比較シグラフ化すると、次のページのとおりとなります。また、近畿2府4県の経常収支比率(市町村平均)の推移をグラフ化すると、10ページのとおりとなります。

# 各都道府県の経常収支比率(市町村平均)の対前年度比較

令和5年度各都道府県の経常収支比率(市町村平均)を前年度と比較しグラフ化すると、以下のとおりとなります。

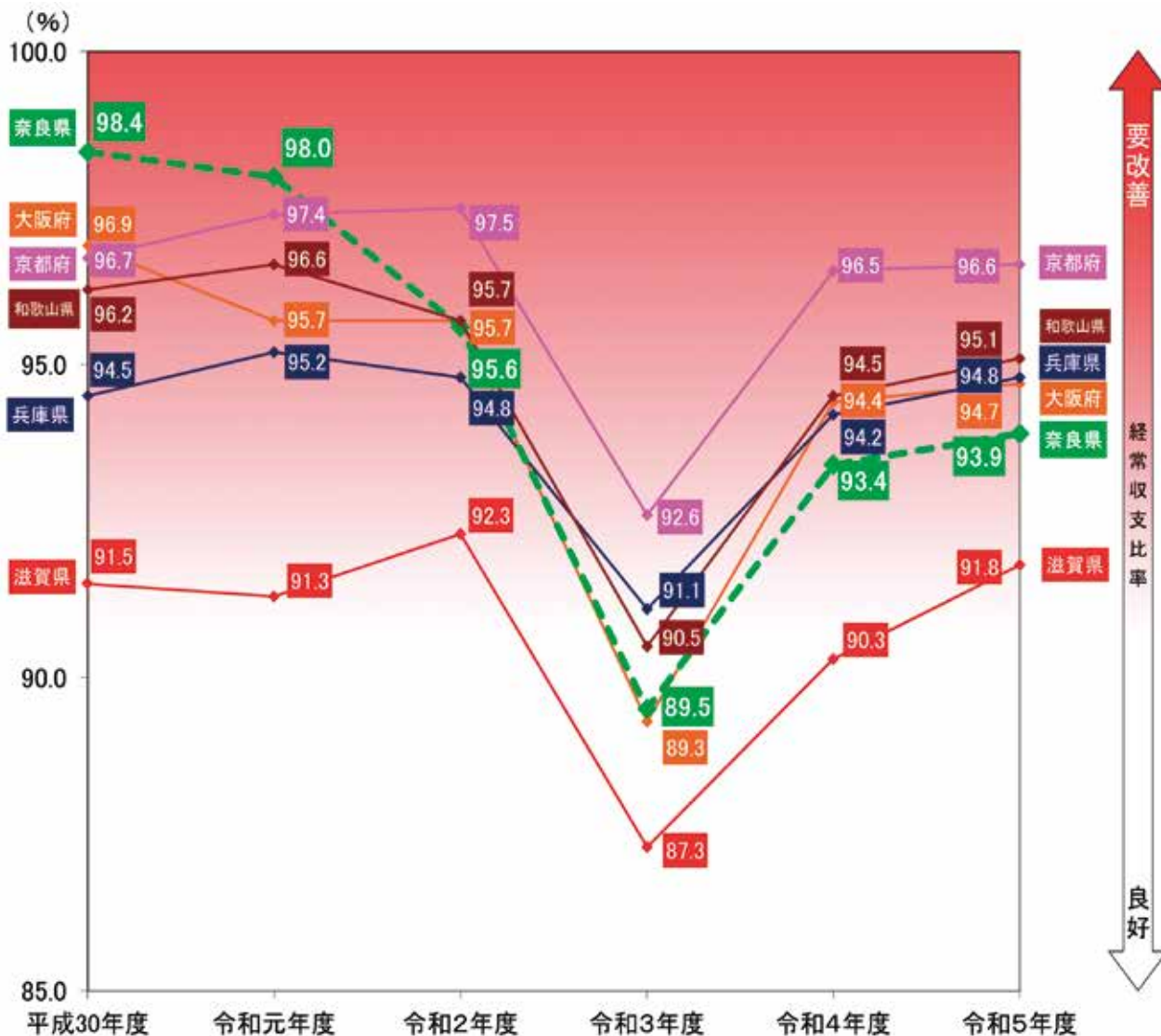
前年度と比較して、奈良県を含めた44団体で悪化し、3団体が改善しました。

※○内の数字は全国順位



## 近畿2府4県の経常収支比率(市町村平均)の推移

近畿2府4県での比較では、奈良県(市町村平均)の順位は平成29年度から令和元年度までは最下位となっていました。令和2年度、令和3年度は順位が3位となり、令和4年度、令和5年度は2位となりました。



府県名	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	経常収支比率	順位	経常収支比率	順位	経常収支比率	順位	経常収支比率	順位	経常収支比率	順位	経常収支比率	順位
滋賀県	91.5	1	91.3	1	92.3	1	87.3	1	90.3	1	91.8	1
京都府	96.7	4	97.4	5	97.5	6	92.6	6	96.5	6	96.6	6
大阪府	96.9	5	95.7	3	95.7	4	89.3	2	94.4	4	94.7	3
兵庫県	94.5	2	95.2	2	94.8	2	91.1	5	94.2	3	94.8	4
<b>奈良県</b>	<b>98.4</b>	<b>6</b>	<b>98.0</b>	<b>6</b>	<b>95.6</b>	<b>3</b>	<b>89.5</b>	<b>3</b>	<b>93.4</b>	<b>2</b>	<b>93.9</b>	<b>2</b>
和歌山県	96.2	3	96.6	4	95.7	4	90.5	4	94.5	5	95.1	5
参考：全国平均	93.0		93.6		93.1		88.9		92.2		93.1	



## 県内市町村の経常収支比率(対前年度比較)及び全国順位

県内市町村の経常収支比率及び全国順位を、令和5年度の数値が高い団体順に並べると以下のとおりとなります。

全国平均未満の団体は、前年度より1団体減少しました。

100%以上の団体は、前年度に引き続きなしとなります。

(単位：%、位)

市町村名	令和4年度		令和5年度			対前年度 比率の増減 (B-A)	100%以上 要改善
	比率(A)	全国順位	比率(B)	全国順位	県内順位		
河合町	91.4	1,096	99.6	1,698	39	8.2	全国平均以上
御所市	99.2	1,712	98.8	1,671	38	△0.4	
田原本町	97.5	1,661	98.6	1,662	37	1.1	
大和高田市	98.3	1,695	98.2	1,637	36	△0.1	
桜井市	97.6	1,665	97.4	1,589	35	△0.2	
奈良市	96.9	1,634	96.9	1,561	34	0.0	
天理市	96.8	1,628	96.8	1,550	33	0.0	
上牧町	94.9	1,488	96.6	1,537	32	1.7	
宇陀市	94.6	1,451	95.4	1,434	31	0.8	
明日香村	93.3	1,329	94.6	1,356	30	1.3	
王寺町	95.3	1,533	94.5	1,340	29	△0.8	
五條市	92.7	1,255	93.8	1,260	27	1.1	
斑鳩町	91.2	1,073	93.8	1,260	27	2.6	
広陵町	92.0	1,175	92.7	1,122	26	0.7	
黒滝村	89.4	852	92.5	1,093	25	3.1	
香芝市	91.4	1,096	92.4	1,078	24	1.0	
葛城市	91.6	1,117	92.3	1,068	23	0.7	
橿原市	91.4	1,096	92.1	1,034	22	0.7	
大和郡山市	94.0	1,400	92.0	1,019	21	△2.0	
上北山村	85.4	458	91.1	907	20	5.7	
生駒市	90.1	959	90.2	811	18	0.1	
大淀町	90.7	1,015	90.2	811	18	△0.5	
安堵町	90.8	1,024	89.6	736	17	△1.2	
吉野町	85.8	494	89.5	718	16	3.7	
三郷町	88.8	775	89.4	702	15	0.6	
川上村	90.7	1,015	89.0	651	14	△1.7	
三宅町	87.6	647	88.8	619	13	1.2	
平群町	90.5	996	88.4	577	11	△2.1	
天川村	84.3	377	88.4	577	11	4.1	
川西町	85.1	428	86.7	422	9	1.6	
高取町	86.3	529	86.7	422	9	0.4	
十津川村	82.2	246	86.0	373	8	3.8	
下北山村	83.9	351	85.6	351	7	1.7	
野迫川村	84.8	402	83.8	261	6	△1.0	
曾爾村	80.3	175	83.6	251	4	3.3	
下市町	84.1	359	83.6	251	4	△0.5	
山添村	79.1	141	82.3	201	3	3.2	
東吉野村	81.0	204	81.0	159	2	0.0	
御杖村	76.1	76	78.5	101	1	2.4	
県内市平均	94.8		94.9			0.1	全国平均未満
県内町村平均	89.7		91.1			1.4	
県内市町村平均	93.4		93.9			0.5	
全国平均・市区町村数	92.2	1,741	93.1	1,741		0.9	

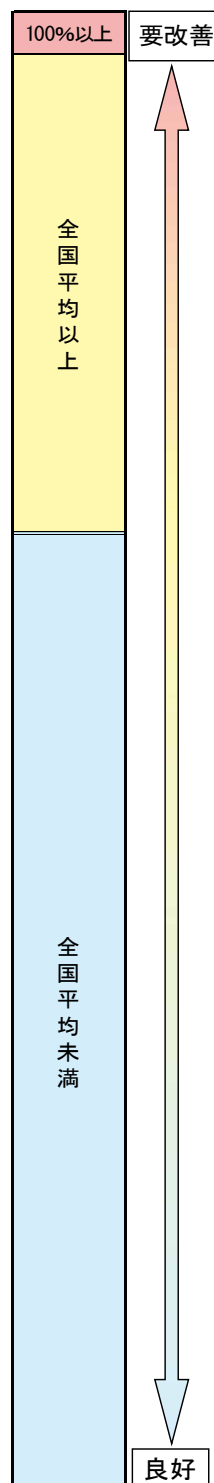
(注) 全国平均は加重平均であり、特別区は含まれていません。

## 県内市町村の経常収支比率の推移

本年度も前年度同様、経常収支比率が100%を上回る団体はありませんでした。  
また、全国平均未満の団体は前年度より1団体減少し、26団体となりました。

(単位：%)

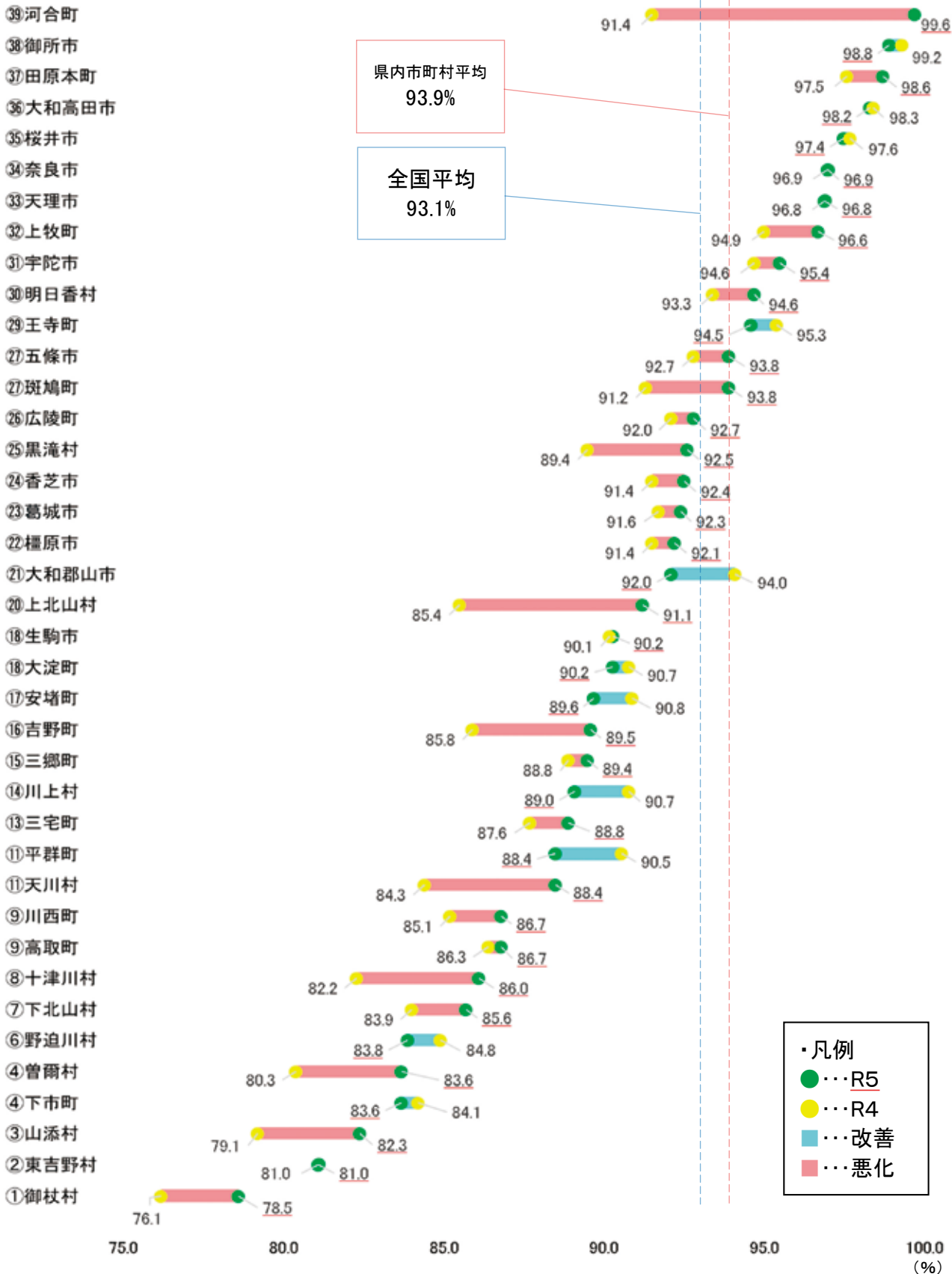
令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
黒滝村	105.8	黒滝村	104.0	御所市	94.2	御所市	99.2	河合町	99.6
御所市	104.3	天理市	101.8	葛城市	93.9	大和高田市	98.3	御所市	98.8
天理市	103.9	御所市	101.1	安堵町	93.4	桜井市	97.6	田原本町	98.6
宇陀市	103.1	大和高田市	100.2	天理市	93.3	田原本町	97.5	大和高田市	98.2
河合町	102.2	田原本町	99.5	田原本町	93.0	奈良市	96.9	桜井市	97.4
桜井市	101.3	桜井市	99.3	桜井市	92.9	天理市	96.8	奈良市	96.9
平群町	99.9	上牧町	98.2	宇陀市	92.8	王寺町	95.3	天理市	96.8
奈良市	99.7	王寺町	98.0	上牧町	91.7	上牧町	94.9	上牧町	96.6
野迫川村	99.7	葛城市	97.9	広陵町	91.5	宇陀市	94.6	宇陀市	95.4
田原本町	99.6	野迫川村	97.8	奈良市	91.1	大和郡山市	94.0	明日香村	94.6
五條市	99.5	大和郡山市	97.7	大和高田市	90.9	明日香村	93.3	王寺町	94.5
上牧町	99.3	奈良市	97.4	五條市	90.7	五條市	92.7	五條市	93.8
吉野町	98.5	宇陀市	97.0	大和郡山市	90.6	広陵町	92.0	斑鳩町	93.8
葛城市	98.2	上北山村	96.9	河合町	90.1	葛城市	91.6	広陵町	92.7
大和高田市	97.9	安堵町	95.8	橿原市	89.9	橿原市	91.4	黒滝村	92.5
上北山村	97.9	平群町	95.7	平群町	89.9	香芝市	91.4	香芝市	92.4
橿原市	97.7	橿原市	95.5	斑鳩町	89.5	河合町	91.4	葛城市	92.3
明日香村	97.5	五條市	95.1	黒滝村	89.0	斑鳩町	91.2	橿原市	92.1
大和郡山市	97.4	広陵町	94.5	野迫川村	88.5	安堵町	90.8	大和郡山市	92.0
安堵町	97.2	河合町	93.9	王寺町	87.3	大淀町	90.7	上北山村	91.1
十津川村	97.1	吉野町	93.5	上北山村	86.8	川上村	90.7	生駒市	90.2
王寺町	97.0	斑鳩町	93.2	香芝市	86.6	平群町	90.5	大淀町	90.2
大淀町	96.8	天川村	92.8	三郷町	85.8	生駒市	90.1	安堵町	89.6
東吉野村	96.6	大淀町	92.5	明日香村	85.6	黒滝村	89.4	吉野町	89.5
高取町	96.0	明日香村	92.0	大淀町	85.3	三郷町	88.8	三郷町	89.4
下市町	96.0	東吉野村	91.3	吉野町	85.0	三宅町	87.6	川上村	89.0
広陵町	94.9	香芝市	90.1	生駒市	84.4	高取町	86.3	三宅町	88.8
生駒市	94.3	高取町	90.0	天川村	83.4	吉野町	85.8	平群町	88.4
斑鳩町	93.3	下北山村	89.9	高取町	83.3	上北山村	85.4	天川村	88.4
天川村	93.3	生駒市	89.7	川西町	82.5	川西町	85.1	川西町	86.7
香芝市	92.6	三郷町	89.0	十津川村	81.1	野迫川村	84.8	高取町	86.7
下北山村	92.0	十津川村	88.2	東吉野村	80.8	天川村	84.3	十津川村	86.0
川上村	90.6	下市町	87.7	三宅町	80.7	下市町	84.1	下北山村	85.6
山添村	89.8	三宅町	86.1	下北山村	80.4	下北山村	83.9	野迫川村	83.8
三郷町	89.8	川西町	85.7	川上村	79.7	十津川村	82.2	曾爾村	83.6
三宅町	88.2	山添村	84.4	下市町	79.4	東吉野村	81.0	下市町	83.6
川西町	86.3	曾爾村	83.8	山添村	79.0	曾爾村	80.3	山添村	82.3
曾爾村	84.8	川上村	83.4	曾爾村	76.8	山添村	79.1	東吉野村	81.0
御杖村	82.5	御杖村	78.6	御杖村	71.1	御杖村	76.1	御杖村	78.5
県平均	98.0	県平均	95.6	県平均	89.5	県平均	93.4	県平均	93.9
全国平均	93.6	全国平均	93.1	全国平均	88.9	全国平均	92.2	全国平均	93.1



## 県内市町村の経常収支比率の対前年度比較

令和5年度経常収支比率が前年度と比較して改善した団体は11団体、悪化した団体は25団体、変動がなかった団体は3団体となりました。

※○内の数字は県内順位

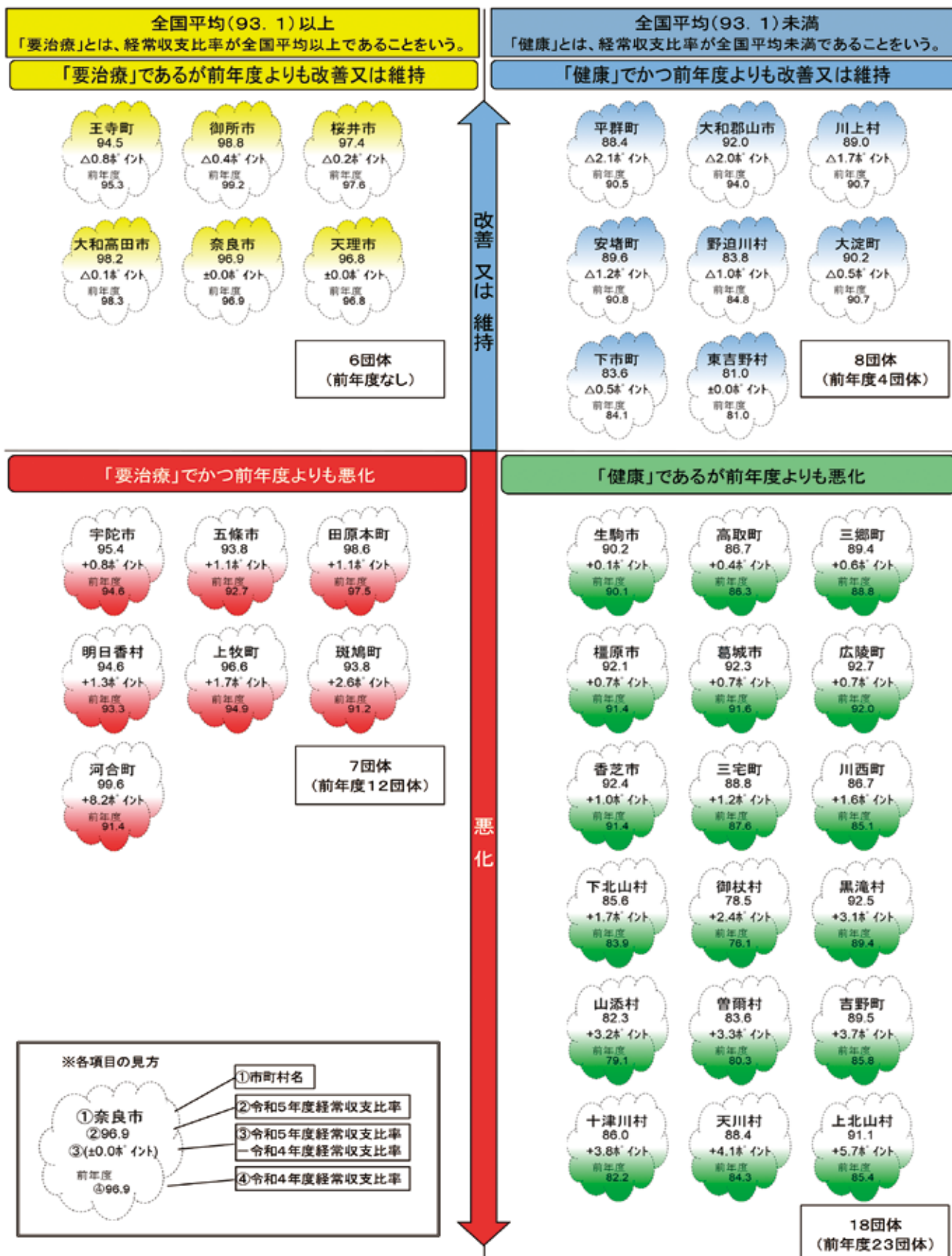




## 県内市町村の経常収支比率の健康診断表

令和5年度県内市町村の経常収支比率を全国平均を目安に「健康」と「要治療」に区分したうえで、前年度と比較して低下したのか、上昇したのかを整理すると以下のとおりとなります。

「要治療」領域に属する13団体は、7団体が前年度より悪化、「健康」領域に属する26団体のうち18団体が前年度より悪化しました。

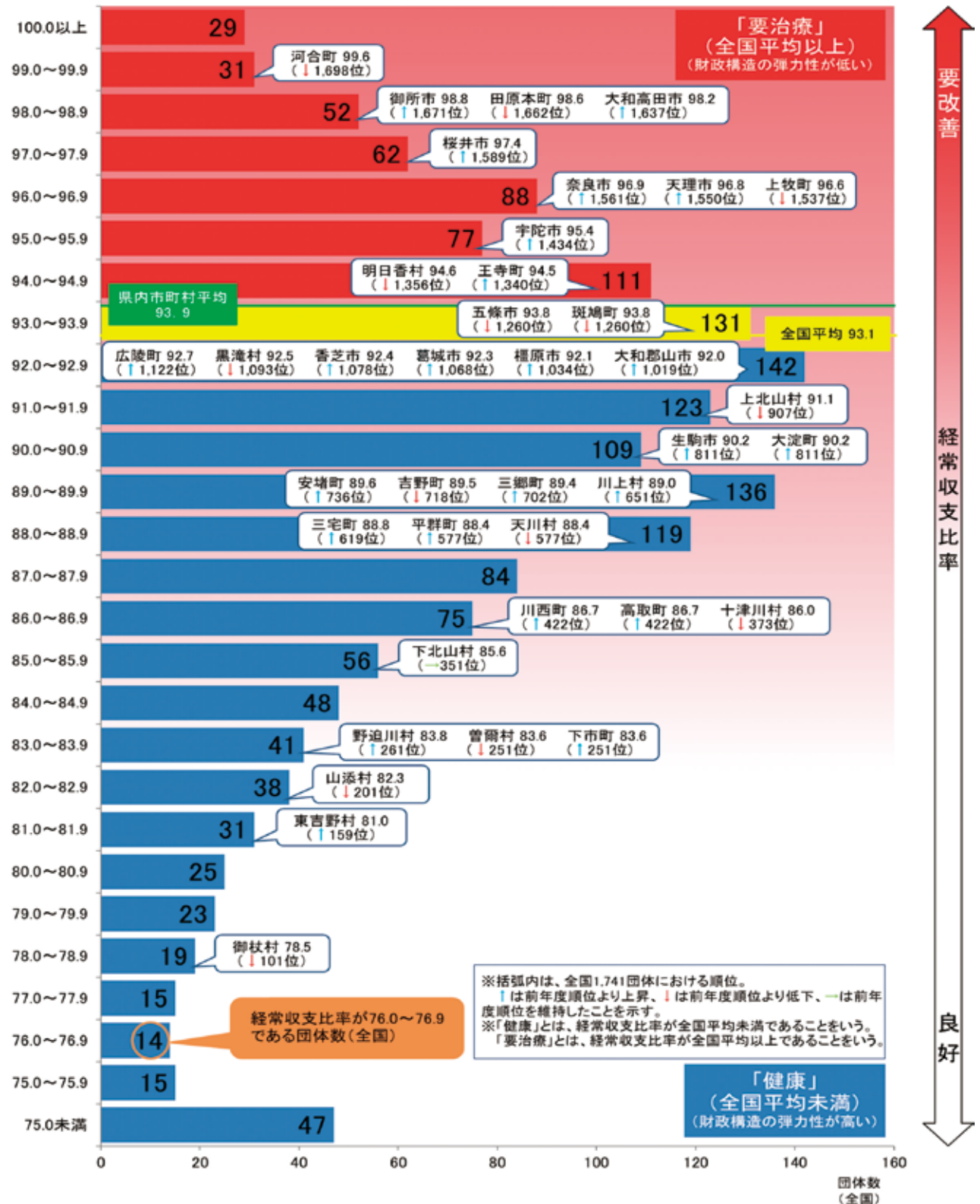


改善又は維持

悪化

## 全国市区町村における県内市町村の経常収支比率の状況

令和5年度県内市町村の経常収支比率の全国順位をグラフ化すると、以下のとおりとなります。全国1,741団体と比較すると、河合町、御所市、田原本町などの順位が低く、御杖村、東吉野村、山添村などの順位が高くなっています。



## 県内市町村の経常収支比率の改善にむけて

県内市町村の経常収支比率を全国平均まで改善するためには、経常的支出(生活費)の削減が必要な額は下表のとおり計算されます。

特に、財政規模の大きい団体の経常収支比率の改善が、県内市町村平均の数値の動向に強い影響を及ぼしていることがわかります。

各団体における経常収支比率が  
全国平均まで改善するために必要な歳出削減額

	経常一般財源等 (A)(百万円)	経常的経費充当一般 財源等(B)(百万円)	経常収支比率 (C = B/A)(%)	全国平均(93.1) との差(D)(%)	(A) × (D) (百万円)
奈良市	84,475	81,869	96.9	+3.8	3,210
大和高田市	16,119	15,830	98.2	+5.1	822
桜井市	13,465	13,117	97.4	+4.3	579
天理市	15,451	14,963	96.8	+3.7	572
御所市	8,032	7,935	98.8	+5.7	458
田原本町	7,886	7,772	98.6	+5.5	434
河合町	4,842	4,822	99.6	+6.5	315
宇陀市	11,137	10,630	95.4	+2.3	256
上牧町	5,456	5,269	96.6	+3.5	191
王寺町	5,979	5,652	94.5	+1.4	84
五條市	10,975	10,297	93.8	+0.7	77
斑鳩町	6,790	6,371	93.8	+0.7	48
明日香村	2,365	2,239	94.6	+1.5	35
小計	192,972	186,764	—	—	7,080
黒滝村	888	821	92.5	△ 0.6	△ 5
上北山村	1,027	936	91.1	△ 2.0	△ 21
広陵町	8,371	7,761	92.7	△ 0.4	△ 33
川上村	1,761	1,567	89.0	△ 4.1	△ 72
天川村	1,565	1,383	88.4	△ 4.7	△ 74
葛城市	10,350	9,558	92.3	△ 0.8	△ 83
野迫川村	908	760	83.8	△ 9.3	△ 84
安堵町	2,562	2,297	89.6	△ 3.5	△ 90
下北山村	1,257	1,076	85.6	△ 7.5	△ 94
三宅町	2,568	2,280	88.8	△ 4.3	△ 110
香芝市	17,147	15,851	92.4	△ 0.7	△ 120
吉野町	3,516	3,149	89.5	△ 3.6	△ 127
曾爾村	1,381	1,155	83.6	△ 9.5	△ 131
大淀町	5,105	4,603	90.2	△ 2.9	△ 148
高取町	2,531	2,195	86.7	△ 6.4	△ 162
川西町	2,851	2,472	86.7	△ 6.4	△ 182
東吉野村	1,665	1,349	81.0	△ 12.1	△ 201
三郷町	5,508	4,925	89.4	△ 3.7	△ 204
御杖村	1,436	1,126	78.5	△ 14.6	△ 210
大和郡山市	20,607	18,959	92.0	△ 1.1	△ 227
山添村	2,193	1,804	82.3	△ 10.8	△ 237
平群町	5,316	4,699	88.4	△ 4.7	△ 250
橿原市	25,590	23,566	92.1	△ 1.0	△ 256
十津川村	3,684	3,169	86.0	△ 7.1	△ 262
下市町	2,757	2,304	83.6	△ 9.5	△ 262
生駒市	25,219	22,758	90.2	△ 2.9	△ 731
小計	157,761	142,523	—	—	△ 4,376
合計(平均)	350,733	329,287	93.9	0.8	2,704